

7月17日にオープンした観音山公園プール



たかさき

Takasaki City Assembly News

市議会だより

高崎市議会ホームページ

高崎市議会

検索

主な掲載内容

- 第3回定例会の概要…………… 2～3
- 一般質問…………… 4～9
- 委員会審査……………10
- 市議会各会派構成……………11
- 議案等審議結果……………12



寺尾小児童による田植え体験

NO. 260

2017.7.31

発行 高崎市議会

編集 広報委員会

高崎市高松町35番地1

TEL 027(321)1281

4つの特別委員会の委員を選任

平成29年第3回定例会は、下記の日程により15日間の会期で開かれました。
 本定例会では、4つの特別委員会委員を選任し、一般会計補正予算（第1号）などの議案等14件、議員派遣の議員提出議案1件の審議を行い、いずれも原案のとおり承認、可決しました。
 また、農業委員会委員及び人権擁護委員候補者の人事案件に同意しました。
 なお、23人の議員が市政に対し一般質問を行いました。

6/8(木)	議案上程、提案説明 ほか
6/9(金)、12(月)～14(水)	一般質問(*詳しい内容はP4～9)
6/16(金)、19(月)	委員会審査(*詳しい内容はP10)
6/22(木)	付託された議案等の委員長報告～反対討論(日本共産党 田村理議員)～議決 ほか(*議決結果はP12)

清水寺のあじさい(石原町)

本定例会で可決した主な議案

中央銀座アーケード改築工事の契約変更

基礎工事の撤去作業を行った結果、インフラ設備が地中に埋設されていたため、切り回しを行い工事することとなったことから工事期間を延長する。また、工事期間延長に伴い日数分の現場管理費などが追加となり契約金額も変更する。

■請負金額 3億9343万円(247万円の増)

■竣工日 平成29年10月31日

個人情報保護条例を一部改正

個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い改正する。

■主な改正内容

- ・法律で個人情報の定義が明確化されたことに伴い、個人識別符号及び要配慮個人情報を定義
- ・個人情報取扱事業者に対する適用除外項目を個々に規定

観音山公園プールの使用料を設定

観音山公園のプール設置に伴い、使用料を定めるため改正する。

■使用料 小学生以上1人につき

1回100円

■施行 平成29年7月14日



観音山公園プール (7月17日オープン)

特別委員会の新しい委員が決まりました。

都市集客施設建設

高崎文化芸術センター（仮称）の建設について調査研究

委員長 柴田 和正	副委員長 根岸 赴夫
委員 清水 明夫	委員 新保 克佳
// 渡邊 幹治	// 堀口 順
// 田角 悦恭	// 逆瀬川 義久
// 木村 純章	// 柴田 正夫

環境施設建設

高浜クリーンセンターの建替えについて調査研究

委員長 丸山 和久	副委員長 後閑 太一
委員 田村 理	委員 中島 輝男
// 小野 聡子	// 長壁 真樹
// 石川 徹	// 柄沢 高男
// 田中 治男	

防災・危機管理対策

災害に強いまちづくりに向け、防災・減災対策や危機管理体制について検討

委員長 高橋 美奈雄	副委員長 伊藤 敦博
委員 時田 裕之	委員 追川 徳信
// 大竹 隆一	// 丸山 寛
// 松本 基志	// 青柳 隆
// 後閑 賢二	

子育て支援・人口減少対策

少子化に伴う人口減少に歯止めをかけるため、出産・育児環境の整備や就労支援体制について検討

委員長 木暮 孝夫	副委員長 白石 隆夫
委員 後藤 彰	委員 北嶋 菊好
// 林 恒徳	// 依田 好明
// 飯塚 邦広	// 三島 久美子
// 寺口 優	// 松本 賢一

平成29年度 一般会計補正予算

歳入歳出4億4389万円の増額

平成29年度一般会計の総額に歳入歳出それぞれ4億4389万円を増額し、予算の総額を1687億5389万円とする。

主な内容

■ごみステーション見守りカメラの設置

240万円
地域からの設置要望が当初の予定を上回ったため、設置に係る経費を増額する。

■たかさき物産フェスタ開催補助金

260万円
高崎商工会議所が開催するたかさき物産フェスタに対し補助する。

■高崎駅西口ペDESTリアンデッキ築造工事

4億3600万円
駅西口ペDESTリアンデッキの整備ルート及び工事仕様の変更に伴い、建設等工事費を増額する。

■自治総合センターコミュニティ助成金

200万円
一般財団法人自治総合センターの助成金が採択されたことに伴い、上豊岡町第2自主防災会に対し補助する。

農業委員会委員の任命同意

農業委員会等に関する法律の改正により農業委員の選出方法が選挙制から市長の任命制へ変更となったもの。これにより農業委員数は、現在の半数程度となる。

■委員構成

- ・ 半数を認定農業者とすること
- ・ 農業者以外で中立な立場の者を1人以上入れること
- ・ 女性・青年も積極的に登用すること

■委員数

25人（名簿はP10参照）

市政を問う

一般質問

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問することをいい、毎定例会で行われます。

質問者順で掲載しています



高崎操車場跡地周辺整備
高崎卸売市場周辺の開発
(新風会)

根岸 勉夫
(新風会)



質問 高崎操車場跡地の周辺整備計画での駅前づくりの考えは。
答弁 新駅や駅前広場は土地区画整理事業の中心的な施設と考える。今後のまちづくりでは、駅前広場周辺の土地利用を促進し、地域住民や駅利用者が便利で生活しやすくなるような施設に誘導していく必要があると考えている。

質問 高崎卸売市場周辺は、これまで優良農地として開発が制限されたが、今後の農地開発の将来設計をどう考えているのか。
答弁 都市計画マスタープランでは、農地及び集落環境との調和を図りながら、業務、流通、工業などの立地と集積により、

新たな市街地形成を目指すとしている。今後も、経済動向の変化や企業の開発ニーズの高まりなどを総合的に判断し、新たな開発に向けた調査研究を進めていきたい。



手話言語条例
第5次障害者福祉計画
(新風会)

松本賢一
(新風会)



質問 議員提案により成立した手話言語条例を市としてどのように受け止めているのか。
答弁 聴覚障害のある人となんが共生することを基本に、手話への理解と普及を図ることを目的とし、基本理念を踏まえて施策を策定し、実施するよう努めることが責務と認識している。手話への理解を広げ、使いやすい

環境にするため努力していく。
質問 平成29年度からの第5次障害者福祉計画に記載の障害者支援SOSセンターの概要と手話通訳者や相談員設置の考えは。
答弁 障害のある人や家族のあらゆる障害に関する悩み事や相談をいつでも受け付け、対応を助言したり関係部署につなぐワンストップサービスが必要と考え、市直営で設置したいと考え



手話言語条例成立記念

ている。手話が必要とする聴覚障害者に対しては、手話通訳者と連携を図り対応していく。
質問 計画の新規事業にある手話講演イベント事業の内容は。
答弁 手話の理解と普及を図るため、手話を使う出演者による



水道事業会計の経営改善
固定資産税の課税客体の把握
(新風会)

田角悦恭
(新風会)



質問 平成29年度と30年度の2年間で水道事業会計の経営改善に取り組むとのことだが、目的や実施状況、効果は。
答弁 目的は事務の効率化と技術の継承である。窓口業務及び施設管理を民間委託し、管路の管理を市が対応することで経営の効率化を進める。その結果、29年度で13人、30年度は15人の人員を削減予定である。効果額

イベントの検討や市主催の講演会等に手話通訳者を配置するなど、市民が手話に触れる機会をつくりたいと考えている。本年度はより効果的なイベント等の開催、周知用のチラシやポスターなどの作成を検討していく。

は30年度以降に提示できると考えている。
質問 浄水場の統廃合や地下水を水源とした浄水場、また県央第一水道の受水量の考え方は。
答弁 ダウンサイジングを含めた統廃合を研究し、効率的な計画で整備を進めていく。地下水を水源とした浄水場は経費がかさむため、合理化を検討する。県央第一水道から水を購入しているが、自ら浄水するのか、購入するのか検討するため、購入量調整の協議を県と開始したところである。

質問 固定資産税の課税客体の把握や免税点の基準は。また、権利異動時の取り組みは。
答弁 法務局からの通知や現地調査で課税客体を把握している。土地、家屋、償却資産の区分ごとに課税標準額に満たない場合は免税される。異動時には、法務局からの通知に基づき2人1組の体制で正確に処理している。

規模を小さくすることを指す用語。ここでは、組織の規模を縮小すること。



学校給食費の無料化 子ども食堂

伊藤 敦博
(日本共産党)



質問 本市の学校給食の特徴と食育や地産地消の取り組みは。また、アレルギーへの対応は。

答弁 特徴は、栄養士や給食技師が一丸となって安全で安心な食の提供に取り組んでいる。食育の推進は、年間計画を策定し、月ごとに給食目標を掲げ、教材となる献立づくりを進めている。地場農産物は、昨年度実績で高崎産と群馬県産を合わせ50%活用している。また、アレルギー対応は、詳細な献立表を保護者に提供し、学校で医師の指導による学校生活管理指導票を基に、代替食や除去食等による対応をしている。

質問 県内でも渋川市やみどり市など学校給食費の無料化が広がっているが、本市の考えは。

答弁 今後も食料費の負担は必要であることを保護者に理解いただき、協力をお願いしていきたい。経済的な理由で学校給食費の支払いが難しい家庭には、就学援助の制度が確実に案内できるように、周知に努めたい。

質問 子ども食堂の取り組みを市はどう支援していくのか。

答弁 さまざまな機会を捉え、実態の把握や、実際に子ども食堂を実施している団体から話を聞くなど、引き続き情報収集に努め、研究していきたい。



高崎市第5次総合計画

北嶋 菊好
(無所属)



質問 平成20年度からの第5次総合計画も残り10カ月だが、これまでの進捗状況と成果は。

答弁 ソフト事業はまちづくりの将来像実現に向けて継続的に推進できた。ハード事業は総合保健センターや高崎アリーナなど大きなプロジェクトも完了し、計画に沿った事業の進捗が図られた。また、市町村合併後の各支所地域の特性を生かしたまちづくりや旧市の市街地のにぎわ

い創出、福祉や教育などの各分野で目に見えない成果が表れていると認識している。

質問 地方自治法の一部改正により、議会の議決を経ずに総合計画の策定が可能となったが、総合計画の位置付けをどう捉え、推進していくのか、考えは。

答弁 法改正により市町村の判断が尊重され、多様な手法で計画を策定できるようになったと認識している。また、基本構想、

基本計画、実施計画の3層構成にとられず簡素化し、計画を策定する動向も見受けられる。本市においてもこのような動向を踏まえ、計画期間は従来どお



総合計画の位置付け 企業誘致と雇用の創出

高橋 美奈雄
(市民クラブ)



質問 次期総合計画の策定にあたって、自治法改正により基本構想の策定は市町村に委ねられて見直しに対する本市の対応は。

答弁 基本構想の策定義務はないが、行政がどのような考えで取り組みを行っていくのか全ての人と道筋を共有することは、否定されるものではない。緊急創生プランのまちづくり理念とも整合性を図りつつ、市民に分

かりやすい計画の策定を進めていきたい。

質問 5月に県内の配送拠点局として群馬南郵便局が市内に開局したが、市内への企業誘致の促進や各種奨励金制度の成果をどう考えるか。

質問 本年度から障害者枠の職員採用試験は身体だけでなく、知的や精神の障害者も受験可能になったが、どのような配慮を考えているか。



障害者の職員採用試験 高崎市の食の発信

中島 輝男
(市民クラブ)



答弁 試験科目や問題は同一のものとする予定で、受験の際に配慮が必要な事項を確認し、個々の受験者の障害状況に応じた適切な対応に努めていきたい。

質問 知的や精神の障害者が採用になった場合、職場配置はどのように考えているか。

答弁 採用予定者の障害特性等は、採用試験の際に面接等を通じて把握し、適性のある職場への配置に努めたい。障害の状況や

答弁 産業団地の整備や各種奨励金により市外からの新たな企業誘致を進めてきた。結果、優良企業の進出が順次決まっている。今後、相当数の雇用創出が図られると考えている。

質問 スマートインター周辺整備事業の進捗状況と地元採用は。

答弁 企業の募集においては地元採用を重視し8社を選考したうち1社は、年内の工場稼働を予定して従業員を募集している。他社も年度内の工事着工に向け準備を進めており、地元の正規雇用を働きかけていきたい。

程度により、短時間での勤務による任用も検討し、さまざまな障害を持った職員が活躍できるように職場環境の整備に努めたい。

質問 食博覧会・大阪に出展した開運たかさき食堂は連日のにぎわいであつたようだが、大好評だった小籠包を高崎の名物として売り出す考えは。

答弁 今回の食博で小籠包は高崎を代表する食として売り込む魅力があるとわかった。販売店舗では、高崎産豚肉を創業時から使用しており、今後は生地にも高崎産小麦を使った高崎小籠包として売り込むことも考えられ、観光協会と相談したい。



群馬南郵便局



障がい者等への支援 中学校部活動の課題

新保 克佳
(公明党)



質問 福祉タクシー事業を本市と前橋市以外のタクシー事業者にも認められないか。

答弁 福祉有償運送運営協議会と地域における連携体制等の関係から隣接市町村の業者に拡大することは現状では難しい。また、高崎、前橋地区のタクシー協議会の協力で実施しており、利用契約している業者には隣接地域を補っているところもあるため、利用者に不都合はからないと考えている。

質問 市庁舎正面玄関前の歩行者用スペースに思いやり駐車場を設置できないか。

答弁 正面玄関前は段差のない



上毛かるたの参加促進 骨髄ドナー助成制度導入

清水 明夫
(新風会)



質問 上毛かるた大会は、子ども会育成会に属する児童・生徒しか参加できない。育成会加入率が減少していくと上毛かるた文化が廃れてしまいが、参加促進に対する本市の取り組みは。

答弁 より多くの子どもたちに上毛かるた大会への参加機会を提供するため、育成会と運営方法について相談していきたい。子どもたちが群馬の歴史、郷土愛を育むことができるような環

境づくりにも努めていきたい。

質問 全国的に普及が広がっている骨髄ドナー助成制度の導入について本市の意向は。

答弁 地域差なくドナー支援を行う環境整備が不可欠のため、国が主体となって休暇制度の法定化や休業補償などを行うことが望ましい。しかし今後、国が主体となる対応は考えにくい状況である。本市としては、他市の動向を踏まえ、導入について

よく検討していきたい。

質問 上野三碑の世界の記憶登録に向けた地元住民の活動に対し、支援を行う予定はあるか。

答弁 行政主体の取り組みのほ



建設関係申請後のスピード化 支所地域の人口減少対策

追川 徳信
(新風会)



質問 給水工事等の申請後の対応を迅速にできないか。

答弁 現状改善のため、本年度、事務の委託化を導入した。研修で、受け付け体制や審査、立ち会い業務の流れなどを見直すことにより、増加する申請に対し、技術の継承を図り、スピード感を持った対応に努めていく。

質問 榛名地域は、市内最大の人口減少地域であるが、どのように解消していくのか。

か、地元が主体となった取り組みも重要なものと考えている。どのようなバックアップができるか県や登録推進協議会と相談していきたい。

答弁 観光や自然の特性を生かした榛名山ヒルクライムin高崎などのスポーツイベントや農業振興、観光振興事業を通じ、その魅力を全国に発信し、集客の向上と地域の活性化を図り、定住化促進の助成金や補給金制



交通安全教育 丸山 覚

丸山 覚
(公明党)



質問 幼稚園や保育園での交通安全教育の現状は。また、小学校入学前の交通安全教育が重要と考えるが、見解は。

答弁 市の交通安全教室や和田橋交通公園で実践的学習を行っている。また、7歳児に交通事故死亡傷者のピークがあることから、入学前に幼児が自分の力で交通事故を防止できるように、早い時期の指導啓発に努める。

質問 市交通安全指導員の任命・再任の年齢条件を時代に合ったものにできないか。

答弁 規則で年齢要件を定めていたが、本年度規則改正をした。任用年齢を20歳以上とし、上限

度を推進することで、今後の人口減少対策に努めていきたい。

質問 倉淵地域は、合併後20%となる斬新な取り組みはないか。

答弁 画期的に人口減少が解消される特効薬はないので、いろいろな手だてを工夫していく必要があると考える。新規就農者など移住を希望する方の受け入れ態勢を整えたり、はまゆう山荘や相間川温泉などの施設と連携を図ることで交流人口を増加させ、定住人口の増加につなげていきたい。

は設けず、再任も年齢にかかわらず3年に統一した。

質問 町内会の同意による地域猫活動は、公営住宅敷地内でも可能と考えるが、見解は。

答弁 地域猫活動は生活環境保全活動として効果があるが、入居者や町内会等の合意形成が図られることが前提と考える。

質問 猫の不妊・去勢手術費用の負担軽減のため、市補助制度の条件を変更し、市外の動物病院での手術も対象とできないか。

答弁 今後も現行の補助制度での支援を考えているが、条件緩和で費用負担が軽減されるため、今後の課題として検討する。



上毛かるたの参加促進を



避難所運営マニュアルの活用 行政文書の性別記載

三島 久美子
(無所属)



質問 避難所運営マニュアルにより、避難所運営の基本方針が明確になった。各避難所の実情にあった運営方針を、行政と地域住民で把握しておく必要があると思うが、実地訓練にどう取り組んでいくのか。

答弁 運営マニュアル配付の際に地域の実情に合わせて修正するように依頼している。現在、避難所開設担当者や地元区長等と連絡方法の確認を行っている。今後、運営マニュアルの活用方法を周知し、自主防災組織を中心とする実地訓練を支援していきたい。

質問 男性の育児休業取得の促進



スポーツのユニバーサル化 緑の基本計画

田村 理
(日本共産党)



質問 ユニバーサル化の観点から、障害のある子の親にもスポーツに親しんでもらうようにするという視点が必要である。本市のスポーツ実施率を目標に近づけるための取り組みは。

答弁 フットサルの大会では、練習会を開催し、初心者でも参加しやすい環境づくりや過去に参加した障害者に募集案内を送付し、スポーツをする機会の情報提供をしており、今後も取り

進が、仕事と家庭の調和に必要不可欠だと考える。イクメンを応援する企業を、市が表彰する制度を作ってはどうか。

答弁 男性の育児休業取得には、環境整備を社会全体で進める必要がある。市内企業に対し効果的な普及啓発が図れるよう、表彰制度創設について研究したい。

質問 真の男女平等社会実現のため、セクシュアリティの多様性への理解が欠かせないが、行政文書の性別記載のあり方は。

答弁 性的マイノリティーの方に配慮するよう、申請書や証明書などの必要な見直しを含め、適切に対応したい。

答弁 浜川運動公園の拡張や吉

井中央公園等の整備により、市民の憩いの場となる緑の空間の確保を行っていく。今後も、現在実施している誕生苗木贈呈事業や花いっぱいふれあい花壇原



中小企業支援 大平台団地の下水道工事

後藤 彰
(新風会)



質問 中小企業にとって人材確保は大きな課題であるが、働きやすい環境を整えるための改善支援策の考えは。

答弁 企業選別に食堂や休憩施設などフレキシブルなスペースの充実を重視するとの調査結果もあり、働く環境の整備は質の良い人材の確保や企業の業績につながるかと考える。今後も企業の現状把握に努め、年齢、性別にかかわらず快適に働ける環境を

整備することで人材確保につながる効果的支援を研究していく。

質問 乗附町の大平台団地の下水道工事の予定は。

答弁 ことしの秋頃から年度末にかけて管渠工事を実施し、集中浄化槽から公共下水道への切り



第4回障害者フットサル大会

材料助成事業等を継続し、各種イベントで、花鉢や花の種の配布等を行うなど、さまざまな機会を活用し、市民と連携した緑化活動を進めていく。

替えを予定している。工事により一部通行止めになるため、地域住民に周知し整備していく。

質問 榛名林間学校榛名湖荘が本年5月に開校したが、開校から現在までの状況は。

答弁 5月末日で15校、949人が入校し、初日は榛名神社から天神峠までの登山や木製の名札等の作製、キャンプファイヤーなどを実施している。翌日の昼食は野外炊飯で、カレー作りなどを体験している。子どもたちにとって思い出に残る充実した体験活動が実施できている。



英語教育をめぐる諸問題 生活困窮者への支援

依田 好明
(日本共産党)



質問 くらぶち英語村で行う子どもたちと地域住民の交流、野外活動などの企画内容は。また、寄宿舎の建設工事の進捗状況は。

答弁 山登りやキャンプ、農作物の育成や収穫など住民の協力を得ながら実施する考えである。現在、建物の基礎工事に着手したところで、完成は来年3月を予定している。

質問 小学校の英語教育の早期化によって、英語が好きな子と嫌いな子に二極化していく心配はないのか。

答弁 本市の指導計画は、同じ表現を繰り返し学べるように構成されているため、内容が定着

しやうしい。授業外でもALTとやりとりできることで意欲も高まり、楽しく学習できているとの感想が寄せられている。

質問 生活困窮者自立支援法による就労支援や住居確保給付金の実績は。また学習支援はどのような形で行われているか。

答弁 平成28年度の自立相談支援による相談は2161件、うち68人が就労につながった。住居確保給付金の支給者は30人で支給額は約262万円となっている。学習支援としては、小中学生を対象とした学力アップ作戦など既存事業を活用するよう案内している。



発達障害者への支援 公共施設等総合管理計画 (市民クラブ)



質問 安心見守りカードの作成が必要と考える。こども発達支援センターの発達障害者への切れ目のない支援の取り組みは。

答弁 義務教育終了後も必要な支援が、引き続き得られるよう障害福祉課や県発達障害者支援センターなどに引き継ぐほか、本人や保護者の同意の上、情報提供等も行っている。発達障害は、正しい理解と適切な関わりが重要で、生涯を通じた支援体制の整備が求められている。本市でも、ライフステージに応じた切れ目のない支援が提供できるよう、関係部署や社会資源との連携を図り、継続的な支援に取

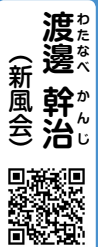
り組んでいきたい。

質問 公共施設等総合管理計画が重要と考えるが、学校施設の建築年数と割合、改築実績、建設維持補修の費用や主な内容は。

答弁 建築年数別の学校数と割合は、建築後40年超が34校で41%、築30年から39年が39校で47%、築30年未満が10校で12%である。平成18年度以降の新設、改築は、校舎が8校、体育館が8校であった。建設維持補修の費用は、25年度が約20億円、26年度が約33億円、27年度が約29億円である。主な内容は、校舎の改築工事、屋上防水工事、校舎等補修整備工事である。



地区公民館の運営、施設整備 介護予防サポーター (新風会)



質問 公民館利用者数や各種サークル団体の減少に対する本市の対応は。

答弁 公民館では地域の特色を生かした事業を企画し、公民館だよりやインターネット配信により情報提供している。また、子育て世代や若者向け講座の開催や参加しやすい日時の設定など、多くの市民に参加していただけよう取り組んでいる。

れ洋式化の現状は。また、エレベーター設置の考えは。

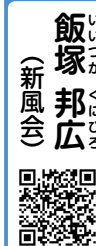
答弁 現時点で、1階トイレ男女1カ所の洋式化が全公民館で終了し、2階、3階も順次進んでいる。また、エレベーターの設置は、多くの公民館で建設後かなりの年数が経過しているため、建て替えや新設の際に検討していきたい。

質問 介護予防サポーターの活動拠点となる場所の確保支援策

は。また、高齢者あんしんセンターとの連携や協力の考えは。

答弁 一例として、総合保健センターを活動場所として実施するものもある。また、高齢者の

多胡郡正倉跡地とバイパスの事業化 里山元気再生事業 (新風会)



質問 現在試掘している正倉跡地を今後どのように進めていくのか。

答弁 多胡郡正倉跡は、古代多胡郡の実存を示す重要な遺跡である。現在、国指定を目指して発掘調査報告書の作成を進めている。

質問 正倉跡地に隣接の国道254号バイパスと高崎神流秩父線バイパスの事業化の可能性は。

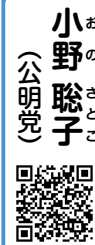
答弁 市が平成28年度に遺跡保

社会参加は高齢者自身の生きがいや介護予防にもつながることから、高齢者あんしんセンターなどと積極的に連携しながら地域づくりを推進していく。

存を表明したことにより県は、遺跡と重なる区間の254号バイパス道路計画について廃止の方向で協議を進めたいとしている。また高崎神流秩父線バイパスは事業化に向け都市計画変更手続きを進めるとしている。市



障害者差別解消法の対応 子育て支援 小野聡子 (公明党)



質問 民間の合理的配慮を提供する取り組みに支援する自治体もある。企業や飲食店などに障害者差別解消法の合理的配慮をどう周知、啓発しているのか。

答弁 ホームページや情報誌などで周知している。今後も障害者差別が起こらない社会の実現を目指し、民間企業等に対する情報共有や制度の周知啓発について、関係機関と連携を図り有効な対策等を研究していきたい。

質問 電子母子手帳の導入の考えは。また、産後に鬱状態になる方がいる。心の健康状態をチェックできるアプリなども開発されているが、本市の対応は。

答弁 ホームページや情報誌などで周知している。今後も障害者差別が起こらない社会の実現を目指し、民間企業等に対する情報共有や制度の周知啓発について、関係機関と連携を図り有効な対策等を研究していきたい。

質問 電子母子手帳の導入の考えは。また、産後に鬱状態になる方がいる。心の健康状態をチェックできるアプリなども開発されているが、本市の対応は。

としても早期事業化に向けて県と調整していきたい。

質問 有害鳥獣が出没しづらい環境の整備という視点で実施されている里山元気再生事業の概要と課題は。

答弁 里山元気再生事業は、竹やぶや里山を整備する地域団体やボランティアの活動を支援するものである。下刈り機器類の借上料や燃料代などが対象経費となる。対象の竹林が管理放棄されたり、所有者の特定や整備の承諾に時間がかかることが課題となっている。

答弁 電子母子手帳は、国や他の自治体の動向等を注視し、調査研究していきたい。また、産後鬱の危険度を測る産後鬱質問票を出産後、返送してもらい、リスクが高い産婦には助産師や保健師が訪問し、支援している。

質問 生活保護世帯には入学前に入学金準備金が支給されているが、準要保護世帯の新生児児童生徒学用品費の支給時期はどのようになっているか。

答弁 申請は、入学後の4月中に行ってもらい、6月に確定する前年の所得により市が認定し、7月に支払いをしている。

質問 生活保護世帯には入学前に入学金準備金が支給されているが、準要保護世帯の新生児児童生徒学用品費の支給時期はどのようになっているか。



高崎市染料植物園 オオキンケイギク

白石 隆夫
(新風会)



質問 高崎市染料植物園の設立経緯と実績は。また、植物染色に特化したことの特徴は。

答弁 本市は、かつて「高崎絹」として、染織の歴史を持つ街であったことから、平成6年4月に観音山丘陵に開園した。染料植物の保護や育成、植物染織作品の展示、染色体験など染色に関する理解と普及に努めている。27年度は藍染の染色体験や講習会などに2254人が参加し、入園者数は約3万4000人、染色工芸館の入館者数は約9700人であった。日本に古くから伝わる植物染色を体感できる染料植物園は、国内でも他に例

のない価値ある施設と考える。
質問 特定外来生物のオオキンケイギクは、以前大規模な群生や市有施設での生息もあったが、最近は少なくなっている。特別な指導等があったのか。

答弁 以前は道路の法面緑化等に利用されてきたが、繁殖力が強く、生態系に悪影響を及ぼすため、特定外来生物に指定された。これまで、本市の国道や県道の路側帯等で確認されており、国や県に防除を依頼している。市有施設で確認された場合、所管課で迅速に対応し防除しており、地道な対応が徐々に効果を上げていく。



市有施設のトイレ洋式化 上野三碑のトイレ方法

木暮 孝夫
(公明党)



質問 利用者ニーズを考えると和式トイレの洋式化が人に優しいまちづくりにつながると考えられる。古い市有施設には和式トイレが多いが、洋式化の現状は。

答弁 本市では、学校施設44%、公営住宅87%、社会教育施設66%、文化施設65%、スポーツ施設35%の建物でトイレの洋式化が進められている。

質問 市有施設の長寿命化計画では、トイレの洋式化を最優先

課題として取り組むべきと考えますが、市の考えは。

答弁 公共施設等総合管理計画では、バリアフリー対応などの安全性の確保や省エネ対応などを基本的な考えとして、学校だけでなく高齢者や障害者への配慮という観点からも公共施設の洋式トイレの導入に取り組んでいきたい。

質問 上野三碑の一般への普及に対する市の取り組みは。また、

日本のロゼッタ・ストーンとしてアピールできないか。



外国人観光客の受け入れ アリーナシャトルバス

時田 裕之
(新風会)



質問 外国人観光客の受け入れ態勢で宿泊施設の外国語対応は。また、外貨両替機設置の考えは。

答弁 宿泊施設では英語が話せるスタッフを配置したり、タブレット端末の通訳アプリを利用している。また、外貨両替機の設置は、需要や設置費用などの問題もあるため、費用対効果を検証し、関係部署とも連携しながら研究していきたい。

28年度には小・中学生向け副読本を作成し授業で活用している。また、ご指摘のキャッチフレーズについては、県や登録推進協議会に伝えていきたい。



井出十字路と浜川運動公園 地元産地元消費

木村 純章
(市民クラブ)



質問 浜川運動公園の拡張による井出十字路の交通渋滞の対策は。また、出入り口の構想はどのように捉えているのか。

答弁 井出十字路は、県の「はばたけ群馬・県土整備プラン」で、平成34年度までに改良に着手するとしているが、交差点付近は住宅が建ち並び地元調整が重要となるため、引き続き県に要望していく。また、アクセス道路は浜川運動公園通り線をメインに進めており、井出町側からも適地を決定し整備していく。

質問 市民後見人の養成支援の方法は。

答弁 平成24年度に27人の市民後見人候補者を養成し、8人が市民後見人として活動している。28年度には、再度養成講座を開催し、26人の市民後見人候補者を養成した。候補者のスキルアップのために2カ月に1回、事例検討会や法律講座などのフォローアップ研修を実施している。

質問 高崎の農産物である高崎そだちを、地元消費に結びつける具体的な施策は。

答弁 フードアルチザン活動に取り組み、販売PR活動の結果国分になじんの新たな加工品が開発された。また、開店予定の大型スーパーでも地場産売り場を設け、販売拡大に取り組む。



市内農産物「高崎そだち」

委員会審査

総務教育常任委員会

質疑 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく特定個人情報の利用及び提供に関する条例の一部改正のねらいは。

答弁 本年7月から国や自治体間でマイナンバーを使った情報連携が開始されるため、その運用に先立って行うもの。



マイナンバーカード

質疑 自治総合センターコミュニティ助成金の内容は。

答弁 一般財団法人自治総合センターが地域のコミュニティ活動充実強化を目的として、助成するものである。今回は自主防災組織が行う地域の防災活動に必要な備品等の整備に対し助成する。

各常任委員会において、付託された議案などを審査しました。
質疑・答弁の一部を掲載します。

保健福祉常任委員会

質疑 地域包括支援センターの主任介護支援専門員に対する5年ごとの更新研修を必要とした理由は。

答弁 介護支援専門員の資質向上を目指す研修制度の見直しに伴い、主任介護支援専門員についても5年ごとの更新研修が追加された。

質疑 指定障害福祉サービスの事業の運営について細かい基準を設定した目的と違反した場合の対応は。

答弁 事業所における適正な運営を図るために設けた基準である。違反している実態が明らかになったときは、実地指導・改善勧告・改善命令の順に対応していく。

市民経済常任委員会

質疑 ごみステーション見守りカメラについて、地域からの要望台数と要望に対する設置状況は。

答弁 年度当初は50台を予定していたが、各町内会から約170台の要望があったため、120台分の設置を追加する。なお、要望に対しては全て設置している。

質疑 たかさき物産フェスタ開催補助金とは何か。

答弁 この補助金は、高崎商工会議所が全国商工会連合会の補助金を活用し、浅草でたかさき物産フェスタを開催するに当たり、その事業費の一部を支援するためのものである。補助金申請に対する採択が年度末であったため、6月補正予算に計上した。

建設水道常任委員会

質疑 観音山公園プールの利用料金の算出根拠と障害者手帳提示による減免について。

答弁 小さな子どもを連れた家族が安価な金額で一日中遊べることを想定して設定した金額である。料金が低額であるため、減免制度は導入していない。

質疑 高崎駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業予算の増額理由は。

答弁 工事着手後に試掘調査を行ったところ、杭の工法が変更になったことや利用者の利便性向上のための建設が進む西口ペDESTリアンデッキ屋根を設置することになり増額となった。



同意した人事案件

・農業委員会委員

うえすぎ まこと 氏	しみず しずえ 氏	つかごし つとむ 氏	なかざわ かつひと 氏	きし きちろう 氏
いぬい くにあき 氏	なかざわ きちこ 氏	よだ のぶお 氏*	うぶかた とみゆき 氏	つぐい かずよし 氏
いだ ゆたか 氏	つかごし まさとし 氏	おおかわら ふじお 氏	なかしま たかお 氏	よしだ まつよ 氏
たかだ まさみ 氏	いしい たか志 氏	うらおんじょう よしこ 氏	いまい たかし 氏	あらい はじめ 氏
あおき よしき 氏	すだ なおこ 氏	さとう いさお 氏	てらさき まさちか 氏	いづか だいすけ 氏

・人権擁護委員候補者

うえすぎ てるひこ 氏	とよいすみ ゆきお 氏	ふくだ てつお 氏
-------------	-------------	-----------

*依田延雄氏は、農業委員会委員の任命同意後にご逝去されました。ご冥福をお祈りします。

市議会各会派構成

「会派」とは、同じ理念や考え方を持った議員同士のグループです。3人以上で総括質疑を行うことができる交渉会派となります。また、交渉会派に所属する議員数に応じ、議会運営委員会や各派代表者会議などのメンバーが会派から選出されます。

◆新風会 (22人)

会長	田中 治男
副会長	石川 徹
幹事	渡邊 幹治
幹事長	根岸 赴夫
副幹事長	時田 裕之
政調会長	松本 賢一
副政調会長	柄沢 高男
会 計	追川 徳信
広 報	白石 隆夫
監 査	田角 悦恭
顧 問	柴田 和正
会 員	柴田 正夫
	丸山 和久
	後閑 賢二
	青柳 隆
	寺口 優
	後閑 太一
	飯塚 邦広
	長壁 真樹
	大竹 隆一
	清水 明夫
	後藤 彰

◆市民クラブ (5人)

会長	高橋美奈雄
幹事	林 恒徳
幹事長	中島 輝男
計 画	木村 純章
会 員	堀口 順

◆公明党 (5人)

顧問	木暮 孝夫
会 長	丸山 覚
幹事	逆瀬川義久
幹事長	新保 克佳
政審会長	小野 聡子
会 計	

◆日本共産党高崎市議会議員団 (3人)

団 長	依田 好明
副 長	伊藤 敦博
書記 長	田村 理

◆無所属

三島久美子
松本 基志
北嶋 菊好

請願・陳情のご案内

請願・陳情とは

市政についての要望などを、どなたでも請願・陳情として市議会に提出することができます。請願は所管の委員会で審査し、本会議で議決します。陳情は本会議の際、議場で陳情書の写しを配付します。ただし、内容によっては、所管の委員会で協議する場合もあります。

請願には市議会議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。請願や陳情は、いつでも提出できますが、締め切りは概ね各定例会の告示日となっています。

作成上の注意

請願（陳情）書は、日本語で件名、趣旨、請願（陳情）事項、提出年月日、住所及び氏名を記載し、押印してください。また、件名、趣旨は簡潔に分かりやすく、必要に応じて地図等を添付してください。

※請願（陳情）者が複数の場合は、代表者を定め「ほか〇人」と表示し、署名（記名）押印し、必ず代表者以外の署名（記名）・押印も添付してください。

(様式例)

〇〇〇に関する(を求める)請願(陳情)

請願(陳情)趣旨

請願(陳情)事項

提出年月日

請願(陳情)者(代表)

住所

氏名 印

(ほか〇人)※

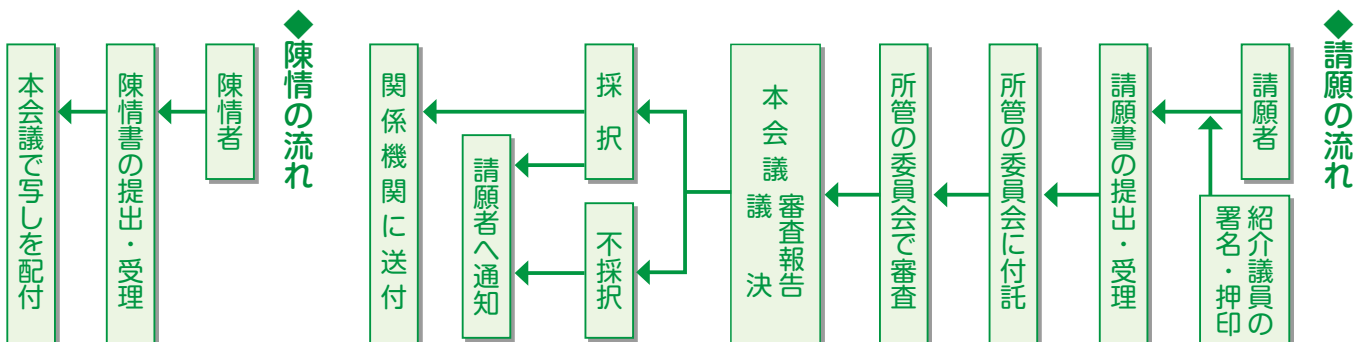
紹介議員

署名または記名押印

(陳情には必要ありません。)

(あて先)

高崎市議会議長



議案等審議結果

件名	結果
報告及び承認	
報告第4号 専決処分の報告	—
報告第5号 繰越明許費繰越計算書の報告（一般会計）	—
報告第6号 予算繰越計算書の報告（水道事業会計）	—
報告第7号 予算繰越計算書の報告（公共下水道事業会計）	—
報告第8号 専決処分の報告	—
承認第6号 専決処分の承認（請負契約の変更（烏川橋改築工事（上部工）））	承認
議案	
第55号 市道路線の廃止	可決
第56号 請負契約の変更（中央銀座アーケード改築工事）	可決
第57号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく特定個人情報の利用及び提供に関する条例の一部改正	可決 (多数)
第58号 個人情報保護条例の一部改正	可決
第59号 職員退職手当に関する条例の一部改正	可決
第60号 地域包括支援センターの人員等に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第61号 指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決

件名	結果
第62号 障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第63号 特別用途地区建築条例の一部改正	可決
第64号 地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部改正	可決
第65号 公園条例の一部改正	可決
第66号 多野藤岡医療事務市町村組合の規約変更に関する協議	可決
第67号 平成29年度一般会計補正予算（第1号）	可決 (多数)
第68号 市道路線の廃止	可決
第69号 農業委員会委員の任命同意	同意
第93号	
第94号 人権擁護委員候補者の推薦	同意
第96号	
議員提出議案	
第2号 議員派遣（広島平和記念式典）	可決

※可決(多数)表記以外は全会一致です

賛否一覧表(上記議案等審議結果で賛否が分かれたものについて掲載しています。)

議案番号	新風会 22人																		市民クラブ 5人				公明党 5人				日本共産党 3人			無所属									
	後藤	清水	時田	追川	大竹	渡邊	白石	根岸	田角	長壁	飯塚	後閑	寺口	石川	青柳	松本	後閑	柄沢	丸山	柴田	柴田	田中	中島	林	堀口	木村	高橋	小野	新保	丸山	逆瀬川	木暮	田村	伊藤	依田	北嶋	松本	三島	
議案第57号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
議案第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○

※議案賛成者は○、反対者は×としています。議長は採決に加わらないため、斜線としています。

お知らせ

7月10日から市役所本庁舎1階の市民情報センターにおいて、平成28年度の政務活動費収支報告書等を公開しています。

また、今回から新たに市議会ホームページでも公開しています。



さらに詳しい内容は会議録で

市議会ホームページ（会議録検索）や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。今回の本会議については9月上旬に公開予定です。

- ・市民情報センター（市役所1階）
- ・高崎市立図書館（本館及び地区館）
- ・倉洲公民館図書室



市議会の予定

9月		
7日(木)	午後1時	開会、議案の提案説明、総括質疑など
8日(金)		
11日(月)	午後1時	一般質問
12日(火)		
13日(水)		
19日(火)	午前10時	総務教育常任委員会
20日(水)	午前10時	保健福祉常任委員会
21日(木)	午前10時	市民経済常任委員会
22日(金)	午前10時	建設水道常任委員会
	午後3時	都市集客施設建設特別委員会
27日(水)	午後1時	委員長報告、提出議案等の議決、閉会

議会をみましょう

傍聴席で

本会議の傍聴は、議会棟5階にある傍聴受付で、住所・氏名を記入して入場してください。

傍聴席は、車椅子用の2席を含め78席ありますので、ぜひおかけください。

インターネットで

本会議の様子は、ライブ中継や録画配信をしています。市議会ホームページの「議会中継」からアクセスしてご覧ください。

また、スマートフォンや、タブレット端末からもご利用いただけます。

